

あおえネットワーク

10
2025



岡山赤十字病院 患者サポートセンター



岡山日赤HP

○医師の新任（10月1日付）

医師氏名	カナ	職名	所属・専門分野	卒年	前勤務地・備考
相本 法慧	アイモト リツシ	医長	産婦人科	H26	大阪中央病院
金光 俊	カミツ シュン	医師	整形外科	R2	岡山大学病院

●医師の退任（9月30日付）

医師氏名	カナ	職名	所属・専門分野
川北 智英子	カワキタ チエコ	医師	腎臓内科
兼森 雅敏	カネモリ マサトシ	医師	産婦人科

☆医師の昇任（10月1日付）

氏名	カナ	新職名
難波 圭	ナンバ ケイ	呼吸器外科副部長

研修会・カンファレンスのご案内

※対面開催となります。

参加の際は、感染症予防対策にご理解・ご協力をお願いいたします。

日時・会場	名称	演題・演者等
令和7年11月5日(水) 19:00～19:20 岡山赤十字病院 南館1階 研修室	第34回 地域連携パス 連絡会	【脳卒中パスについて】 岡山赤十字病院 脳卒中科部長 岩永 健 【大腿骨頸部骨折パスについて】 岡山赤十字病院 第一整形外科副部長 (兼) 外傷センター長 保利 忠宏
令和7年11月5日(水) 19:30～21:00 岡山赤十字病院 南館1階 研修室	第95回 岡山赤十字病院 病診連携研修会 *詳細は同封のチラシ をご覧ください。	テーマ『急性期と地域をつなぐACPの実践と課題 ～救急の場面で役立たせるには～』 ●急性期病院の立場から 『ACP対応できる救急システム』 岡山赤十字病院 救急科部長 有嶋 拓郎 ●地域診療・救急の立場から 『かかりつけ医が果たすACP支援の在り方』 医療法人REGIONO 池田医院 院長 重松 照伸先生 『ACPと救急のかかわり』 岡山市北消防署 救急第1係係長 指導救命士 池田 直樹先生 ●パネルディスカッション 《生涯教育カリキュラム(1.5単位): 2:医療倫理:臨床倫理(0.5) 81:終末期のケア(0.5) 80:在宅医療(0.5)》

がんサロン開催のお知らせ

日時: 10月14日(火) 10:00～11:00

場所: 岡山赤十字病院 南館2階 会議室1

対象: がん患者さんとそのご家族

(入院中の方、通院中の方どなたでも参加できます)

1. 『がん治療中の日常生活について』

講師: がん化学療法看護認定看護師 武田 芽衣

2. 座談会

(内容は問いません)



ご要望・ご意見等ございましたら、「診療所の先生方の声」として地域医療連携課までお寄せください。

TEL/086-235-8555 FAX/086-235-8556 e-mail/renkei@okayama-med.jrc.or.jp

院内Topics ニュース&報告

令和7年度 地域医療連携懇親会

9月3日(水)に、令和7年度岡山赤十字病院地域連携懇親会をホテルグランヴィア岡山にて開催いたしました。地域の医療機関や福祉施設などから279名の皆様にご出席いただき、当院職員107名、運営スタッフ44名を合わせて、合計430名での開会となりました。

まず、私からの開会の挨拶の後、参加者代表として辻医院院長の辻光明先生にご挨拶をいただきました。続いて、ぬくもりの里あおえ理事長の小林完治先生による乾杯の発声により、会食が始まりました。昨年に引き続き、食品ロスを減らすSDGs活動として「30・10運動」を導入し、乾杯後の30分間は各自のテーブルでお食事を楽しんでいただきました。

食事の間には、動画での診療科の紹介に引き続き、新任の院長・副院長・部長を壇上にて紹介しました。私のほかに、高木章司副院長、竹中皇副院長、森英樹副院長、長谷川功糖尿病・内分泌内科部長、歳森淳一肝臓内科部長、加藤源太郎心臓血管外科部長、佐々木克己第二泌尿器科部長、佐々木佳子産婦人科部長、有嶋拓郎救急科部長、都地友紘病理診断科部長、牧田文子健診部長の順で、スライド提示を交えて自己紹介をしていただきました。その後は交流タイムとして、参加者同士での交流を深めていただきました。

閉会に際し、副院長の高木章司先生から閉会の挨拶をいただき、滞りなく終了いたしました。過去最多の参加人数を数え、盛会裏に終えられたことに対し、改めて皆様のご協力に感謝申し上げます。

この地域連携懇親会は、院内外からの参加者間での情報共有を促進し、地域における医療連携を強化することで、患者のニーズに応じた医療サービスの向上やシームレスな医療提供体制の構築を目指すものです。今後お互いに顔の見える関係を築き、医療機関および保健福祉施設とのつながりを深め、当院が「信頼され親



しまれる病院」であり続けられるよう、地域医療連携をさらに推進していく所存です。

院長 實金 健



第94回岡山赤十字病院病診連携研修会

令和7年7月2日に、第94回岡山赤十字病院病診連携研修会が開催されました。今回のテーマは『ここでしか聞けない心臓・血管の話』で、3人の演者にご講演いただきました。

【講演Ⅰ】では、心臓血管外科部長の加藤源太郎先生による『ちょっと厄介！？でも大丈夫 ～感染性心内膜炎～』という演題でした。この講演では、感染性心内膜炎の特徴とその治療法について詳細に説明され、臨床現場における注意点が強調されました。

【講演Ⅱ】では、循環器内科副部長(兼)心血管治療部門長の柚木佳先生が『見逃さない！下肢閉塞性動脈硬化症 ～診るべき足のサイン～』という演題で、下肢閉塞性動脈硬化症の重要性を述べられました。特に、症状の早期発見とその後の治療へのスムーズな移行が患者の予後に与える影響についてお話いただきました。

【講演Ⅲ】には、副院長(兼)薬剤部長の森英樹先生が『睡眠薬と循環器』という演題でご登壇され、睡眠薬の使用が循環器系に及ぼす影響について講演されました。睡眠薬の選択肢や副作用についての知識を深める貴重な機会となりました。

いずれの講演でも、疾患の種類や患者さんの状態により、進行速度や治療方針が大きく変化することが確認されました。このため、発見から治療に至るまでの病診連携が非常に重要であると改めて実感しました。今回の研修が、より良い治療環境の構築への一助となれば幸いです。ご講演いただいた皆様に感謝申し上げます。

